

2022年12月14日
株式会社 電通グループ
代表取締役社長執行役員 CEO 五十嵐 博
(東証プライム市場 証券コード：4324)

電通グループ傘下のマークル社、豪州のコンサルティング会社 「アウェア・サービス社」を買収し、データ活用・分析業務を強化

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員 CEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円、以下「当社」）の連結子会社で、電通グループの海外事業において CXM^{*1} 領域を中心にカスタマー・エクスペリエンス・マネジメント・サービスを手掛ける Merkle（以下「マークル社」）は、豪州のコンサルティング会社である Aware Services（本社：シドニー市、共同創始者・CEO：Paul Stewart、以下「アウェア・サービス社」）の全株式を取得し、連結子会社とすることにつき同社と合意しました。

1989年設立のアウェア・サービス社は、Salesforce、MuleSoft、Tableau のパートナーとして、カスタマー・トランスフォーメーション領域におけるデータ活用と分析に強みを持つコンサルティング会社で、公共及び民間セクターの幅広い顧客企業に対してサービスを提供しています。

本買収により、マークル社は Salesforce の活用やデータ活用・分析力を強化・拡充し、顧客企業へのサービスの向上を図ります。また、来年初頭にはアウェア・サービス社の幹部・従業員の計 115 名をマークル社のチームに完全統合し、新たなチーム体制で持続的な成長を目指します。さらに、今回の買収により、当社グループ内で Salesforce のトレーニングを受けたスタッフの数は 1,500 人以上、Salesforce の認定資格者数は 3,900 人以上になる予定です。

当社グループは中期経営計画の 4 つの柱の一つとして「事業変革と成長」を掲げており、その中で「売上総利益に占めるカスタマー・トランスフォーメーション&テクノロジー (CT&T) ^{*2} 領域の構成比を今後 50% へ高める」ことを優先項目としています。本項目に対し、今後もマークル社の寄与が期待されるとともに、カスタマー・エクスペリエンス・トランスフォーメーション領域への更なる進出により、より競争力と付加価値の高いサービスの提供、並びに当社グループの事業変革と持続的な成長の実現を目指します。

なお、本件が当社グループの 2022 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

【アウェア・サービス社の概要】

正 式 社 名：Aware Services Pty Ltd

本 社 所 在 地：オーストラリア ニューサウスウェールズ州 シドニー市

設 立：2018 年 10 月

株 主 構 成：株式取得後、マークル社 100%

収益(Revenue)：約 14.4 百万豪ドル (2021 年実績、約 13.4 億円)

代 表 者：Paul Stewart (共同創始者・CEO)

従 業 員 数：115 名

事 業 内 容：カスタマー・トランスフォーメーション領域におけるコンサルティング・サービス

※1：CXM：Customer Experience Management（顧客体験マネジメント）を指す。

※2：当社グループにおけるマーケティング・テクノロジー、カスタマーエクスペリエンスマネジメント、コマース、システム・インテグレーション、トランスフォーメーション&グロース戦略などの事業で構成される高成長領域。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、島津

Email：group-cc@dentsu-group.com

株式会社電通グループでは、新型コロナウイルス対策の一環として、現在リモートワークを実施しておりますので、同期間のお問い合わせは、Eメールにてお願いいたします。